

## 行政経営評価（施策評価）

<b>コミュニティの視点 （生活と空間）</b>	<b>8. 広 域</b>	「移住・定住推進」「国際交流」「男女共同参画」のほか、市単位で行ってきたもので外部と連携した方が効果的・効率的と考えられる分野を【広域コミュニティ】に該当する分野と捉えます。
------------------------------	---------------	---

施策分野	目指すべき姿
8-① 移住・定住推進	潜在的な移住希望者に対する積極的な働きかけを行うとともに、本市を選んでもらえるような生活環境を整備し、多くの都市住民に移住してもらえるまち
8-② 国際交流	市民一人ひとりが、異文化理解を深め、外国人住民と相互コミュニケーションが図られる多文化共生のまち
8-③ 男女共同参画	市民一人ひとりが、人として尊重され、その個性と能力を発揮できる男女共同参画社会を実現するまち
8-④ 広域連携（再掲）	ごみ処理や道路整備、消防、観光振興など、市独自で対応することが困難、あるいは非効率な分野について、関係市町等と広域的に連携して取り組むまち

### ■まちづくりの視点

市民の視点	行政区域にとらわれない市民・民間の連携を深める
行政の視点	広域的視点に立ったまちづくりに取り組む
協働の視点	市外の諸資源をまちづくりに積極的に活かしていく

### ■成果指標と現状

指標名 （対象分野）	計画策定時 （基準年度）	現状 （最新）	3年後 （2022年度目標値）	5年後 （2024年度目標値）	10年後 （2029年度目標値）
① 移住相談者のうち本市への移住者数 （移住・定住促進）	4人 （2017年度）	延べ 22人 （2020年度）	延べ 10人	延べ 14人	延べ 24人
② 移住相談件数 （移住・定住促進）	111件 （2017年度）	45件 （2020年度）	140件	160件	210件
③ 国際交流協会会員数 （国際交流）	109人 （2018年8月末）	60人 （2020年度）	140人	160人	160人
④ 日本語教室受講者数 （国際交流）	2018年6月 開講	延べ 55人 （2020年度）	延べ 340人	延べ 380人	延べ 480人
⑤ 審議会等における女性委員の割合 （男女共同参画）	26.4% （2018年4月1日）	22.7% （2020年度）	30.0%	40.0%	50.0%
⑥ 家族経営協定の締結数 ※ （男女共同参画）	144件 （2017年度）	152件 （2020年度）	149件	151件	156件

※家族経営協定：家族で取り組む農業経営について、経営の方針や家族一人ひとりの役割、就業条件・就業環境について家族みんなで話し合いながら取り決め協定を結ぶもの。「家族経営協定」を結ぶことによって認定農業者制度などのメリットがある。

成果指標と現状の分析	
移住・定住促進	移住者数は、基準年度と比較し、2029年度の目標値に近い延べ22人となっているが、移住相談件数は大幅に減少した。国全体が人口減少傾向にある中、本市も人口減少傾向は避けがたいが、転出超過による人口減少スピードを鈍化させるために暮らしやすいまちづくりに取り組んでいく。 また、今般のコロナ禍におけるリモート社会に応じ、ワーケーションを超えた二拠点活動（本市と居住地の二拠点）を空家の利活用と並行して取り組むことができないか検討を進める。
国際交流	国際交流協会会員数及び日本語教室受講者数はともに伸び悩んでいる状況にある。新型コロナウイルス感染症拡大の影響もあるが、今後は、感染状況を注視しつつ、感染防止対策を徹底した上で、対面での活動を再開していく。
男女共同参画	審議会等における女性委員の割合は基準年度よりも低下している。男女共同参画計画の着実な実行に取り組む。また、家族経営協定の締結数は基準年度よりも増加しており、今後も協定締結数の確保に取り組む。

<区分を構成する主な事務事業一覧>

区分： 8. 広 域

注：予算を必要としない取組は、事務事業一覧には掲載していません。

事務事業名	担当課室等	事業費（単位：千円）		個別レポート番号	備考
		令和元年度決算	令和2年度決算		
8-①移住・定住促進：移住促進に向けた情報発信の充実					
移住・定住推進経費	銚子創生室	61	113	10201083703	
8-①移住・定住促進：その他【移住・定住促進】					
地域おこし協力隊事業経費（銚子電鉄）	企画室	—	66	10201086102	令和2年度新規事業
地域おこし協力隊事業経費（多文化共生）	企画室	—	1,341	10201086202	令和2年度新規事業
地域おこし協力隊募集経費	企画室	—	110	10201086402	令和2年度新規事業
地域おこし協力隊事業経費（起業型）	観光商工課	—	2,863	10701023034	令和2年度新規事業
8-②国際交流：在住外国人支援の充実					
国際交流経費	企画室	257	200	10201082602	
8-③男女共同参画：DV相談体制の充実					
DV相談経費	子育て支援課	1,054	1,216	10303010929	
8-④広域：ごみ処理施設、最終処分場の広域化					
ごみ処理広域化施設整備経費	生活環境課	1,500,993	4,999,098	10402010840	7-①資源循環再掲
8-④広域：広域幹線道路の整備促進					
広域営農団地農道管理経費	農産課	2,624	8,294	10601050236	3-②農業振興再掲
広域営農団地農道整備経費（地方創生道整備推進交付金事業）	農産課	51,571	10,053	10601050436	3-②農業振興再掲
広域営農団地農道管理経費（農村地域防災減災事業）	農産課	5,280	—	—	令和2年度対象なし 3-②農業振興再掲
8-④広域：消防の広域化					
共同指令センター運営関係経費	消防総務課	20,244	16,548	10901030942	6-②防災・消防再掲
消防救急無線維持管理経費	消防総務課	7,224	7,247	10901031042	6-②防災・消防再掲
8-④広域：外国人観光客の誘致促進					
外国人観光客誘致促進経費	観光商工課	440	440	10701043834	3-④観光振興再掲
8-④広域：日本遺産の魅力発信					
日本遺産魅力発信推進経費	文化財・ジオパーク室	715	714	11007012853	2-⑤文化振興再掲



# 行政経営評価レポート

	所管	銚子創生室
事務事業名	移住・定住推進経費	事業ID
		10201083703

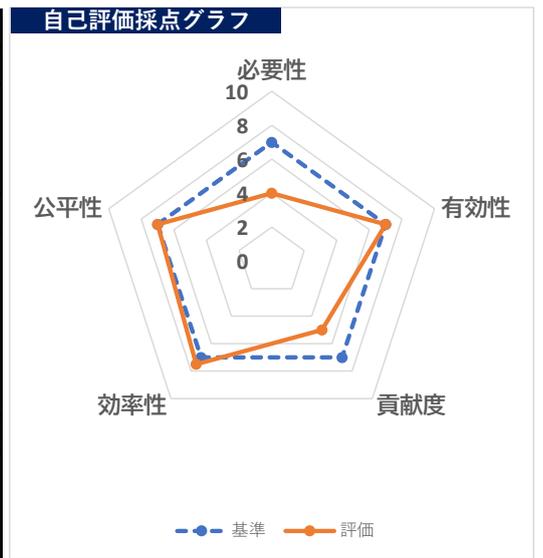
## 4 事業の結果と効果

活動実績指標項目	単位	目標/実績	R 1	R 2
移住定住イベント参加者数	人	目標値	30	30
		実績値	31	14
移住相談件数	件	目標値	90	100
		実績値	24	31
空き家バンクへの物件掲載件数	件	目標値	4	4
		実績値	5	1
事業成果指標項目 (指標の説明)	単位	目標/実績	R 1	R 2
移住者数 ( 市外・県外から本市へ移住した人数 )	人	目標値	2	2
		実績値	2	6
空き家バンク物件の契約件数 ( 空き家バンク掲載物件のマッチングによる売買、賃貸などによる契約件数 )	件	目標値	2	2
		実績値	0	2
( )		目標値		
( )		実績値		
事業成果の総評 ※上記の指標による数値では表せない場合は、総評のみ記載				

## 5 事業の検証

必要性	事業の実施に対するニーズはあるか	変わらずにある
	事業の廃止・休止による影響は大きいか 市が実施すべき事業か	廃止・休止による影響は小さいがある 市民生活に寄与するが、担い手として、国・県・民間等での実施も可能
有効性	事業の成果は得られているか	事業の実施コストに見合った成果を得ている
貢献度	上位施策の実現に向けた貢献度	事業の方向性は適切であるが、あまり貢献ができていない
効率性	事業費等の削減努力	事業費又は人員の削減に取り組んだ
	関連・類似事業との統合	関連・類似事業の統合を検討していない
公平性	受益者負担は公正・公平か	受益者が特定できないため、受益者負担を求めることができない

事業の方向性	c:事業内容は現状どおりとする
見直しの種類	現状どおり
見直しする内容	
今後の予算規模の方向性 (上記理由)	予算規模は現状維持とする
	人口減少対策として移住・定住を推進する必要があるため、予算の現状維持は必要である。
比較参考 (他自治体での類似事業の例など)	



## 6 総評 (評価に対する考え方から今後の事業の進め方など)

引き続き市外・県外からの移住者を増加させるため、移住・定住イベントへの出店や空き家バンクの管理を行っていく。



# 行政経営評価レポート

	所管	企画室
事務事業名	地域おこし協力隊事業経費（銚子電鉄）	事業ID
		10201086102

## 4 事業の結果と効果

活動実績指標項目	単位	目標/実績	R 1	R 2
地域おこし協力隊員数（銚子電鉄）	人	目標値	—	1
		実績値	—	0
		目標値		
		実績値		
		目標値		
		実績値		
事業成果指標項目（指標の説明）	単位	目標/実績	R 1	R 2
（ ）		目標値		
		実績値		
（ ）		目標値		
		実績値		
（ ）		目標値		
		実績値		
事業成果の総評 ※上記の指標による数値では表せない場合は、総評のみ記載				
<p>隊員の募集及び選考は行ったが、委嘱には至らなかった。なお、決算額66千円は、お試し地域おこし協力隊に係る業務委託料である。</p>				

## 5 事業の検証

必 要 性	事業の実施に対するニーズはあるか	評価対象外
	事業の廃止・休止による影響は大きいか	評価対象外
	市が実施すべき事業か	評価対象外
有 効 性	事業の成果は得られているか	評価対象外
貢 献 度	上位施策の実現に向けた貢献度	評価対象外
効 率 性	事業費等の削減努力	評価対象外
	関連・類似事業との統合	評価対象外
公 平 性	受益者負担は公正・公平か	評価対象外

事業の方向性	b:事業を休止又は廃止とする
見直しの種類	
見直しする内容	
今後の予算規模の方向性	
(上記理由)	
2度の選考を経ても隊員の委嘱に至らなかった経緯から、銚子電鉄の分野での地域おこし協力隊の委嘱は当面見合わせる。	
比較参考（他自治体での類似事業の例など）	
いすみ市・大多喜町（いすみ鉄道）、高森町（南阿蘇鉄道）ほか	



## 6 総評（評価に対する考え方から今後の事業の進め方など）

2度の選考を経ても隊員の委嘱に至らなかった経緯から、銚子電鉄の分野での地域おこし協力隊の委嘱は、当面見合わせる。
--



# 行政経営評価レポート

	所管	企画室
事務事業名	地域おこし協力隊事業経費（多文化共生）	事業ID
		10201086202

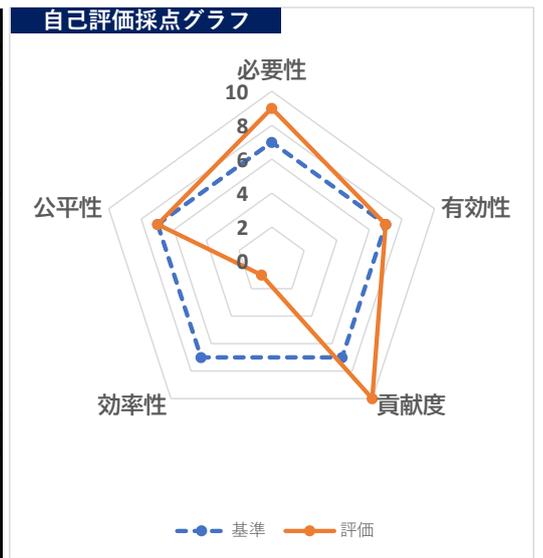
## 4 事業の結果と効果

活動実績指標項目	単位	目標/実績	R 1	R 2
地域おこし協力隊員数（多文化共生）	人	目標値	—	1
		実績値	—	1
		目標値		
		実績値		
事業成果指標項目（指標の説明）	単位	目標/実績	R 1	R 2
（ ）		目標値		
		実績値		
（ ）		目標値		
		実績値		
（ ）		目標値		
		実績値		
事業成果の総評 ※上記の指標による数値では表せない場合は、総評のみ記載				
<p>隊員1名(R2.11着任)を委嘱し、家族を含め4名の移住が実現した。コロナ禍のため、対面による活動が制限される中、外国人向けの行政手続きガイドブックを作成した。</p>				

## 5 事業の検証

必 要 性	事業の実施に対するニーズはあるか	増大している
	事業の廃止・休止による影響は大きいか	廃止・休止による影響は大きくある
	市が実施すべき事業か	豊かな市民生活に寄与することから、今後も市が実施する必要がある
有 効 性	事業の成果は得られているか	事業の実施コストに見合った成果を得ている
貢 献 度	上位施策の実現に向けた貢献度	事業の方向性や手法も適切であり、大きく貢献している
効 率 性	事業費等の削減努力	事業費及び人員の削減を検討していない
	関連・類似事業との統合	関連・類似事業の統合を検討していない
公 平 性	受益者負担は公正・公平か	受益者が特定できないため、受益者負担を求めることができない

事業の方向性	c:事業内容は現状どおりとする
見直しの種類	現状どおり
見直しする内容	
今後の予算規模の方向性	予算規模は現状維持とする
(上記理由)	
	当面は、1名の委嘱を継続する。なお、経費については特別交付税により措置される。
比較参考（他自治体での類似事業の例など）	



## 6 総評（評価に対する考え方から今後の事業の進め方など）

<p>隊員は、地域に定着し、着実に人脈を築くなどしている。新型コロナウイルスの感染拡大の中であり、活動の難しさがあるため、当面はこの1名の委嘱を継続し、効果を見極めつつ対応を検討していく。</p>
--



# 行政経営評価レポート

	所管	企画室
事務事業名	地域おこし協力隊募集経費	事業ID
		10201086402

## 4 事業の結果と効果

活動実績指標項目	単位	目標/実績	R 1	R 2
地域おこし協力隊員数	人	目標値	0	4
		実績値	0	3
		目標値		
		実績値		
		目標値		
		実績値		
事業成果指標項目（指標の説明）	単位	目標/実績	R 1	R 2
（ ）		目標値		
		実績値		
（ ）		目標値		
		実績値		
（ ）		目標値		
		実績値		
事業成果の総評 ※上記の指標による数値では表せない場合は、総評のみ記載				
隊員3名を委嘱し、家族を含め6名の移住が実現した。				

## 5 事業の検証

必要性	事業の実施に対するニーズはあるか	評価対象外
	事業の廃止・休止による影響は大きいか	評価対象外
	市が実施すべき事業か	評価対象外
有効性	事業の成果は得られているか	評価対象外
貢献度	上位施策の実現に向けた貢献度	評価対象外
効率性	事業費等の削減努力	評価対象外
	関連・類似事業との統合	評価対象外
公平性	受益者負担は公正・公平か	評価対象外

事業の方向性	b:事業を休止又は廃止とする
見直しの種類	
見直しする内容	地域おこし協力隊員の募集時に限り実施する事業であり、次年度以降に継続する予定はない。
今後の予算規模の方向性	
(上記理由)	
比較参考（他自治体での類似事業の例など）	



## 6 総評（評価に対する考え方から今後の事業の進め方など）

隊員の募集については、ホームページなどによる周知で十分な応募者が確保できたことから、今後は、地域おこし協力隊の活躍が期待できる分野において、必要最小限の経費で隊員を募集する。
---



# 行政経営評価レポート

	所管	観光商工課
事務事業名	地域おこし協力隊事業経費（起業型）	事業ID
		10701023034

## 4 事業の結果と効果

活動実績指標項目	単位	目標/実績	R 1	R 2
地域おこし協力隊員数	人	目標値	—	2
		実績値	—	2
		目標値		
		実績値		
		目標値		
		実績値		
事業成果指標項目（指標の説明）	単位	目標/実績	R 1	R 2
( )		目標値		
		実績値		
( )		目標値		
		実績値		
( )		目標値		
		実績値		

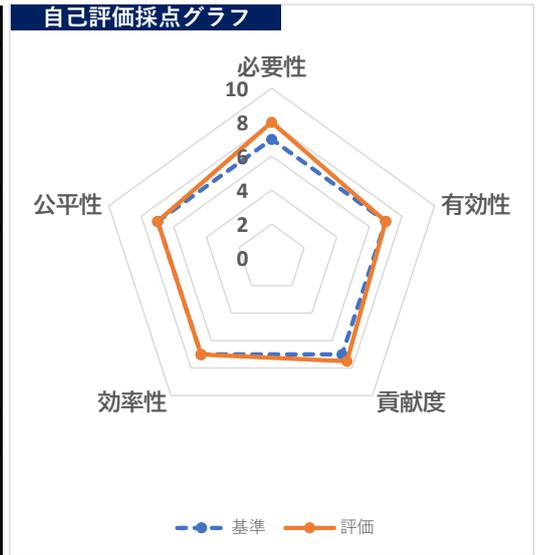
**事業成果の総評 ※上記の指標による数値では表せない場合は、総評のみ記載**

よそ者として移住してくる協力隊が孤立せずに地域に入り込めるかというのが一つの課題であったが、コロナ禍という厳しい状況にも関わらず、市民や市内事業者との交流がある程度進んでいる。市民との交流を目的としたワークショップ「教えて聴かせて餃子のこと」の開催や餃子の魅力を発信するYoutubeチャンネル「チーバくんの耳チャンネル」の開設など、地域おこしに繋がると思われる活動を開始している。

## 5 事業の検証

必要性	事業の実施に対するニーズはあるか	評価対象外
	事業の廃止・休止による影響は大きいか	評価対象外
	市が実施すべき事業か	豊かな市民生活に寄与することから、今後も市が実施する必要がある
有効性	事業の成果は得られているか	事業の実施コストに見合った成果を得ている
貢献度	上位施策の実現に向けた貢献度	事業の方向性や手法は概ね適切であり、一定程度貢献している
効率性	事業費等の削減努力	評価対象外
	関連・類似事業との統合	評価対象外
公平性	受益者負担は公正・公平か	評価対象外

事業の方向性	a:事業内容を見直す
見直しの種類	事業を拡大
見直しする内容	協力隊の増員
今後の予算規模の方向性	予算規模を拡大する
(上記理由)	
協力隊員同士の連携により、より効率的・効果的な地域おこし活動の実行が見込まれるため。	
比較参考（他自治体での類似事業の例など）	
千葉県いすみ市においては、二十名以上の地域おこし協力隊が活動している。	



## 6 総評（評価に対する考え方から今後の事業の進め方など）

隊員ごとに有するスキル、経験、目標により、交流する市民や事業者のネットワークが異なるだけでなく、必要となる支援も様々である。今後もそれぞれの協力隊員にあった支援を継続し、期間満了後の起業の準備を進めていく。



# 行政経営評価レポート

		所管	企画室
事務事業名	国際交流経費	事業ID	10201082602

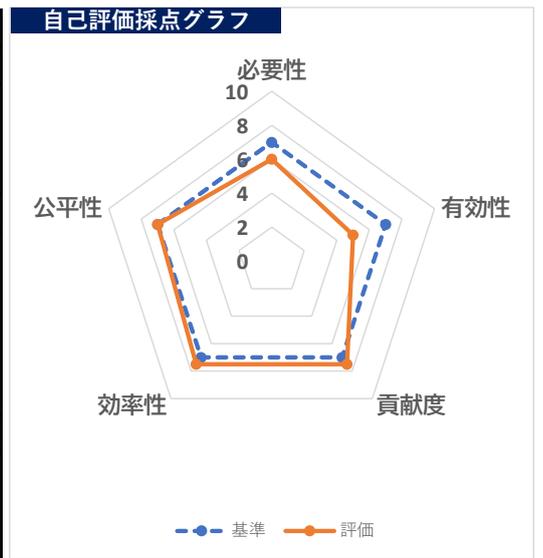
## 4 事業の結果と効果

活動実績指標項目	単位	目標/実績	R 1	R 2
日本語教室の受講者数	人	目標値	300	300
		実績値	300	55
国際交流イベントの開催回数	回	目標値	3	3
		実績値	3	1
		目標値		
		実績値		
事業成果指標項目（指標の説明）	単位	目標/実績	R 1	R 2
外国人住民人口	人	目標値	2,244	2,329
（住みやすい環境づくりによる人口の増加）		実績値	2,298	2,358
（ ）		目標値		
（ ）		実績値		
（ ）		目標値		
（ ）		実績値		
事業成果の総評 ※上記の指標による数値では表せない場合は、総評のみ記載				
コロナの影響で日本語教室の受講者数は伸び悩んだが、オンラインで工夫して開催したことにより、新しい可能性が見いだせた。				

## 5 事業の検証

必要性	事業の実施に対するニーズはあるか	増大している
	事業の廃止・休止による影響は大きいか	廃止・休止による影響は大きくある
	市が実施すべき事業か	市民生活に寄与するが、担い手として、国・県・民間等での実施も可能
有効性	事業の成果は得られているか	成果が概ね出ているが、更なる努力は必要である
貢献度	上位施策の実現に向けた貢献度	事業の方向性や手法は概ね適切であり、一定程度貢献している
効率性	事業費等の削減努力	事業費又は人員の削減に取り組んだ
	関連・類似事業との統合	関連・類似事業の統合を検討していない
公平性	受益者負担は公正・公平か	受益者が特定できないため、受益者負担を求めることができない

事業の方向性	c:事業内容は現状どおりとする
見直しの種類	現状どおり
見直しする内容	
今後の予算規模の方向性	予算規模は現状維持とする
(上記理由)	
市内在住の外国人住民の人数は年一増大しており、更なる取組が必要。事業の拡大、経費の増大も想定される。	
比較参考（他自治体での類似事業の例など）	
【日本語教室開催数】銚子市 2教室開催、香取市 1教室開催、匝瑳市 1教室開催、神栖市 9教室開催	



## 6 総評（評価に対する考え方から今後の事業の進め方など）

外国人住民の増加により、外国人住民が社会生活を円滑に営むことができる環境の整備の必要性は増大している。事業の担い手となる銚子市国際交流協会の活性化に向け支援を行い、交流イベントや日本語教室を継続して実施していく。
--



# 行政経営評価レポート

	所管	子育て支援課
事務事業名	DV相談経費	事業ID
		10303010929

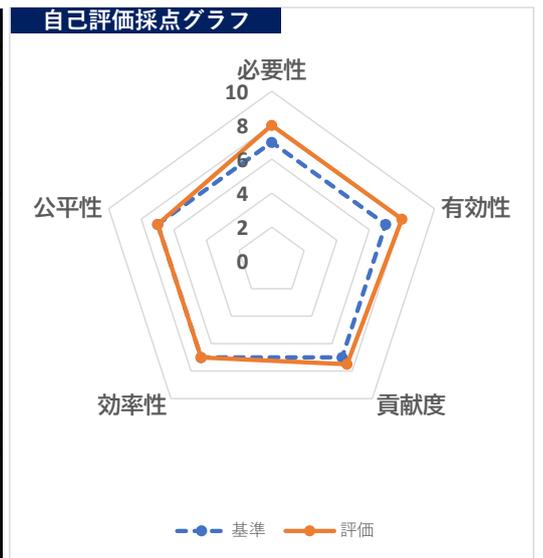
## 4 事業の結果と効果

活動実績指標項目	単位	目標/実績	R 1	R 2
DV相談受理件数	件	目標値	—	—
		実績値	53	36
		目標値		
		実績値		
		目標値		
		実績値		
事業成果指標項目（指標の説明）	単位	目標/実績	R 1	R 2
（ ）		目標値		
		実績値		
（ ）		目標値		
		実績値		
（ ）		目標値		
		実績値		
事業成果の総評 ※上記の指標による数値では表せない場合は、総評のみ記載				
DV被害者の安全確保と自立の支援に寄与した。				

## 5 事業の検証

必要性	事業の実施に対するニーズはあるか	変わらずにある
	事業の廃止・休止による影響は大きいか	廃止・休止による影響は大きくある
	市が実施すべき事業か	豊かな市民生活に寄与することから、今後も市が実施する必要がある
有効性	事業の成果は得られているか	事業の実施コストに十分に見合った成果を得ている
貢献度	上位施策の実現に向けた貢献度	事業の方向性や手法は概ね適切であり、一定程度貢献している
効率性	事業費等の削減努力	事業費及び人員の削減を検討したが削減余地なし
	関連・類似事業との統合	関連・類似事業の統合を検討したが統合不可
公平性	受益者負担は公正・公平か	受益者はあるが今後も公費により全額市が負担すべきものである

事業の方向性	c:事業内容は現状どおりとする
見直しの種類	現状どおり
見直しする内容	
今後の予算規模の方向性	予算規模は現状維持とする
(上記理由)	
DV相談員を配置し、配偶者から暴力を受ける被害者からの相談に応じ、必要に応じて保護を実施することは被害者の安全確保と自立の支援に資する有効な手段であると考え、予算規模を現状維持する。	
比較参考（他自治体での類似事業の例など）	



## 6 総評（評価に対する考え方から今後の事業の進め方など）

<p>DV相談員を配置し、配偶者から暴力を受ける被害者からの相談に応じ、必要に応じて保護を実施することは被害者の安全確保と自立の支援に資する有効な手段であると考え、今後も継続していく。</p>
--



行政経営評価レポート

		所管	生活環境課
事務事業名	ごみ処理広域化施設整備経費	事業ID	10402010840

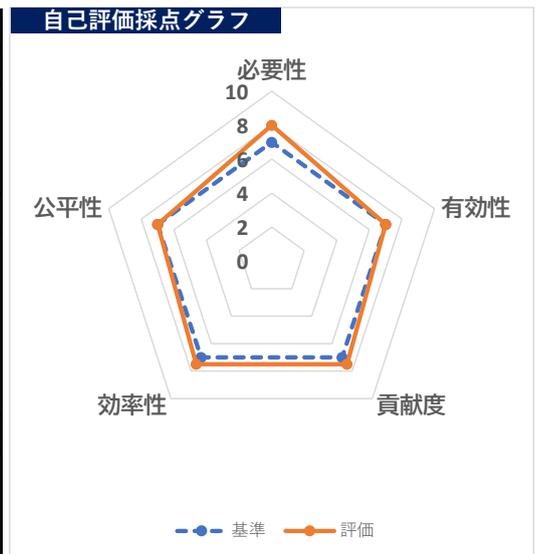
4 事業の結果と効果

活動実績指標項目	単位	目標/実績	R 1	R 2
組合環境担当課長会議開催数	回	目標値	—	—
		実績値	4	5
組合負担金制度検討会議開催数	回	目標値	—	—
		実績値	3	1
		目標値		
		実績値		
事業成果指標項目（指標の説明）	単位	目標/実績	R 1	R 2
施設整備進捗度 ( 広域ごみ処理施設の整備工事における進捗度 )	%	目標値	30	100
		実績値	26.7	92
		目標値		
		実績値		
		目標値		
		実績値		
事業成果の総評 ※上記の指標による数値では表せない場合は、総評のみ記載				
<p>ごみ焼却施設は、令和2年度中に竣工し、予定どおり令和3年4月から稼働したが、広域最終処分場にあつては工事に遅れが生じたことから、令和3年度の稼働を予定している。</p>				

5 事業の検証

必要性	事業の実施に対するニーズはあるか	変わらずにある
	事業の廃止・休止による影響は大きいか	廃止・休止による影響は大きくある
有効性	市が実施すべき事業か	豊かな市民生活に寄与することから、今後も市が実施する必要がある
	事業の成果は得られているか	事業の実施コストに見合った成果を得ている
貢献度	上位施策の実現に向けた貢献度	事業の方向性や手法は概ね適切であり、一定程度貢献している
効率性	事業費等の削減努力	事業費又は人員の削減に取り組んだ
	関連・類似事業との統合	関連・類似事業の統合を検討していない
公平性	受益者負担は公正・公平か	受益者が特定できないため、受益者負担を求めることができない

事業の方向性	a:事業内容を見直す
見直しの種類	事業を縮小
見直しする内容	広域ごみ処理施設及び広域最終処分場の整備が終了し、事業は中継施設整備に係るものとなる。
今後の予算規模の方向性 (上記理由)	予算規模を縮小する
	広域ごみ処理施設及び広域最終処分場の整備終了後、残るは中継施設整備に係る経費となり、予算規模は縮小する見込みである。
比較参考（他自治体での類似事業の例など）	



6 総評（評価に対する考え方から今後の事業の進め方など）

<p>旧施設解体の方向性も含め、中継施設整備に今年度中に着手する。</p>
---------------------------------------



# 行政経営評価レポート

	所管	農産課
事務事業名	事業ID	10601050436
広域営農団地農道整備経費（地方創生道整備推進交付金事業）		

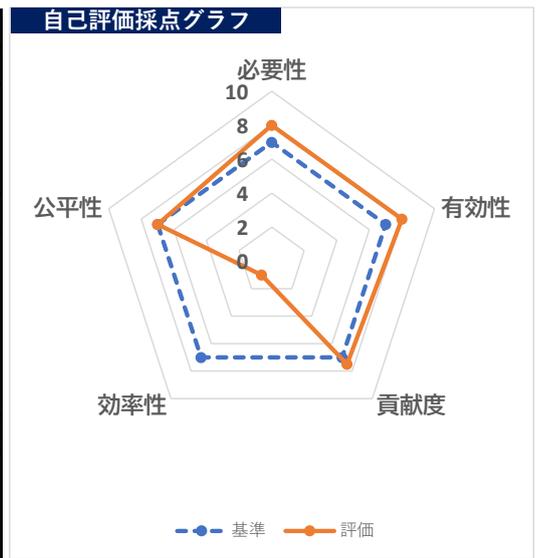
## 4 事業の結果と効果

活動実績指標項目	単位	目標/実績	R 1	R 2
		目標値		
		実績値		
		目標値		
		実績値		
		目標値		
		実績値		
事業成果指標項目（指標の説明）	単位	目標/実績	R 1	R 2
（ ）		目標値		
		実績値		
（ ）		目標値		
		実績値		
（ ）		目標値		
		実績値		
事業成果の総評 ※上記の指標による数値では表せない場合は、総評のみ記載				
令和2年度道路工（路体盛土）、橋梁上部工（桁制作）を県営事業で実施。				

## 5 事業の検証

必要性	事業の実施に対するニーズはあるか	変わらずにある
	事業の廃止・休止による影響は大きいか	廃止・休止による影響は大きくある
有効性	市が実施すべき事業か	豊かな市民生活に寄与することから、今後も市が実施する必要がある
	事業の成果は得られているか	事業の実施コストに十分に見合った成果を得ている
貢献度	上位施策の実現に向けた貢献度	事業の方向性や手法は概ね適切であり、一定程度貢献している
効率性	事業費等の削減努力	事業費及び人員の削減を検討していない
	関連・類似事業との統合	関連・類似事業の統合を検討していない
公平性	受益者負担は公正・公平か	受益者はいるが今後も公費により全額市が負担すべきものである

事業の方向性	c:事業内容は現状どおりとする
見直しの種類	現状どおり
見直しする内容	
今後の予算規模の方向性	予算規模は現状維持とする
(上記理由)	
農道整備にかかる経費は継続的に必要であるため	
比較参考（他自治体での類似事業の例など）	
該当市等の負担割合等があるため。	



## 6 総評（評価に対する考え方から今後の事業の進め方など）

<p>工事の進捗状況により事業完了年度を令和3年度から令和5年度に延長し、関係団体と連携を図り全線開通を進める。</p>
--



行政経営評価レポート

		所管	農産課
事務事業名	広域営農団地農道管理経費	事業ID	10601050236

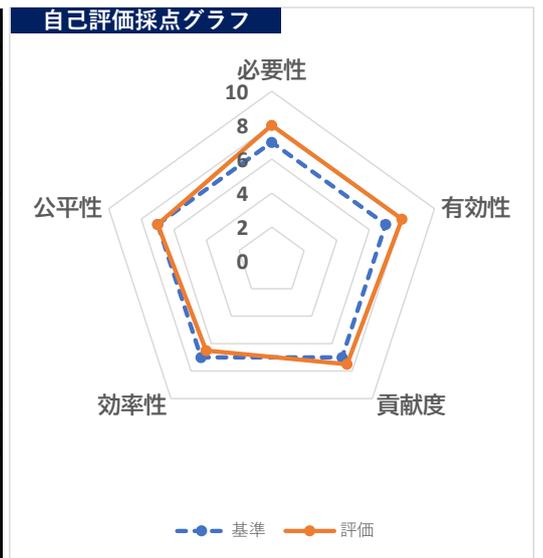
4 事業の結果と効果

活動実績指標項目	単位	目標/実績	R 1	R 2
除草・清掃活動面積	㎡	目標値	—	—
		実績値	6,870	6,870
舗装修繕面積	㎡	目標値	—	—
		実績値	0	214
		目標値		
		実績値		
事業成果指標項目（指標の説明）	単位	目標/実績	R 1	R 2
( )		目標値		
		実績値		
( )		目標値		
		実績値		
( )		目標値		
		実績値		
事業成果の総評 ※上記の指標による数値では表せない場合は、総評のみ記載				
令和2年度は主に除草業務、舗装修繕工事、4号橋応急復旧工事を実施（市単独）				

5 事業の検証

必要性	事業の実施に対するニーズはあるか	変わらずにある
	事業の廃止・休止による影響は大きいのか 市が実施すべき事業か	廃止・休止による影響は大きくある 豊かな市民生活に寄与することから、今後も市が実施する必要がある
有効性	事業の成果は得られているか	事業の実施コストに十分に見合った成果を得ている
貢献度	上位施策の実現に向けた貢献度	事業の方向性や手法は概ね適切であり、一定程度貢献している
効率性	事業費等の削減努力	事業費及び人員の削減を検討したが削減余地なし
	関連・類似事業との統合	関連・類似事業の統合を検討していない
公平性	受益者負担は公正・公平か	受益者が特定できないため、受益者負担を求めることができない

事業の方向性	c:事業内容は現状どおりとする
見直しの種類	現状どおり
見直しする内容	
今後の予算規模の方向性 (上記理由)	予算規模は現状維持とする  農道整備にかかる経費が継続的に必要であるため
比較参考（他自治体での類似事業の例など）	



6 総評（評価に対する考え方から今後の事業の進め方など）

本広域農道を予防保全するため、日常的パトロール、5年に1回の目視による橋梁点検を実施し、維持管理に努める。
---



# 行政経営評価レポート

	所管	消防総務課
事務事業名	消防救急無線維持管理経費	事業ID
		10901031042

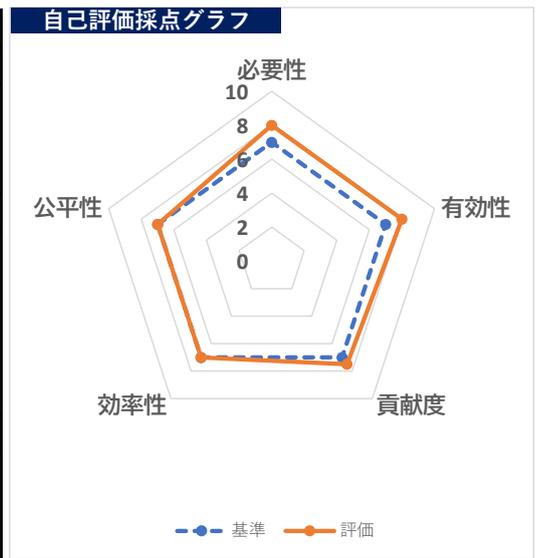
## 4 事業の結果と効果

活動実績指標項目	単位	目標/実績	R 1	R 2
		目標値		
		実績値		
		目標値		
		実績値		
		目標値		
		実績値		
事業成果指標項目（指標の説明）	単位	目標/実績	R 1	R 2
（ ）		目標値		
		実績値		
（ ）		目標値		
		実績値		
（ ）		目標値		
		実績値		
事業成果の総評 ※上記の指標による数値では表せない場合は、総評のみ記載				
消防救急無線の維持管理経費のため、指標の設定はしないものとする。				

## 5 事業の検証

必要性	事業の実施に対するニーズはあるか	変わらずにある
	事業の廃止・休止による影響は大きいか	廃止・休止による影響は大きくある
有効性	事業の廃止・休止による影響は大きいか	廃止・休止による影響は大きくある
	市が実施すべき事業か	豊かな市民生活に寄与することから、今後も市が実施する必要がある
有効性	事業の成果は得られているか	事業の実施コストに十分に見合った成果を得ている
貢献度	上位施策の実現に向けた貢献度	事業の方向性や手法は概ね適切であり、一定程度貢献している
効率性	事業費等の削減努力	事業費及び人員の削減を検討したが削減余地なし
	関連・類似事業との統合	関連・類似事業の統合を検討したが統合不可
公平性	受益者負担は公正・公平か	受益者が特定できないため、受益者負担を求めることができない

事業の方向性	c:事業内容は現状どおりとする
見直しの種類	現状どおり
見直しする内容	
今後の予算規模の方向性	予算規模は現状維持とする
(上記理由)	
県域で整備した基地局無線と、単独整備した移動局無線の維持管理に要する経費のみであるため。	
比較参考（他自治体での類似事業の例など）	



## 6 総評（評価に対する考え方から今後の事業の進め方など）

県域で整備した基地局については、今後も維持管理の徹底を図る。単独で整備した移動局については、機械寿命や製造中止等の理由により定期的な交換を含めた計画策定を行う必要がある。
---



# 行政経営評価レポート

	所管	消防総務課
事務事業名	共同指令センター運営関係経費	事業ID
		10901030942

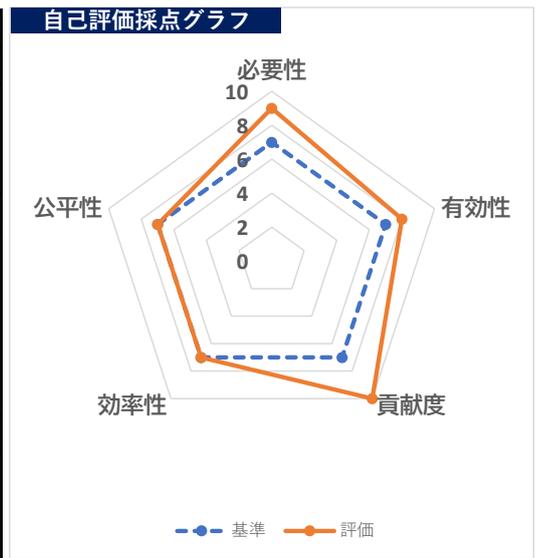
## 4 事業の結果と効果

活動実績指標項目	単位	目標/実績	R 1	R 2
119番通報受報件数(年中)	件	目標値	—	—
		実績値	3,579	3,224
		目標値		
		実績値		
		目標値		
		実績値		
事業成果指標項目(指標の説明)	単位	目標/実績	R 1	R 2
救急出動の平均到着時間 ( 救急出動における、出動～現場到着までの平均所要時間(年中) )	分	目標値	—	—
		実績値	5.5	5.5
隣接応援件数 ( 隣接市町村へ応援出動した件数(年中) )	件	目標値	—	—
		実績値	4	4
隣接受援件数 ( 隣接市町村から応援を受けた件数(年中) )	件	目標値	—	—
		実績値	7	20
<b>事業成果の総評 ※上記の指標による数値では表せない場合は、総評のみ記載</b>				
<p>共同運用することにより、通信機器等の整備費及び維持管理経費の節減が図れるとともに、相互の応援体制が図れる。なお、災害対応業務であることから、指標の設定は困難であり、計画値・目標値についても記載しないものとする。</p>				

## 5 事業の検証

<b>必要性</b>	事業の実施に対するニーズはあるか	実施が義務付けられている事業【法定受託等】
	事業の廃止・休止による影響は大きいか	実施が義務付けられており、廃止・休止はできない【法定受託等】
	市が実施すべき事業か	実施が義務付けられており、今後も市が実施する必要がある【法定受託等】
<b>有効性</b>	事業の成果は得られているか	事業の実施コストに十分に見合った成果を得ている
<b>貢献度</b>	上位施策の実現に向けた貢献度	事業の方向性や手法も適切であり、大きく貢献している
<b>効率性</b>	事業費等の削減努力	事業費及び人員の削減を検討したが削減余地なし
	関連・類似事業との統合	関連・類似事業の統合を検討したが統合不可
<b>公平性</b>	受益者負担は公正・公平か	受益者が特定できないため、受益者負担を求めることができない

<b>事業の方向性</b>	c:事業内容は現状どおりとする
<b>見直しの種類</b>	現状どおり
<b>見直しする内容</b>	
<b>今後の予算規模の方向性</b>	予算規模は現状維持とする
(上記理由)	
	本事業については、事業費に大きく変動がある事業ではないが、オリンピック・パラリンピックの開催に伴い、通報受入れ体制を強化する必要がある。
<b>比較参考(他自治体での類似事業の例など)</b>	



## 6 総評(評価に対する考え方から今後の事業の進め方など)

<p>協議会事務局より機器の全体更新計画が示され、令和8年4月の運用開始について協議を進めたい意向。今後は、更新時期や規模について慎重に協議を進めていく。</p>
---



# 行政経営評価レポート

	所管	観光商工課
事務事業名	外国人観光客誘致促進経費	事業ID
		10701043834

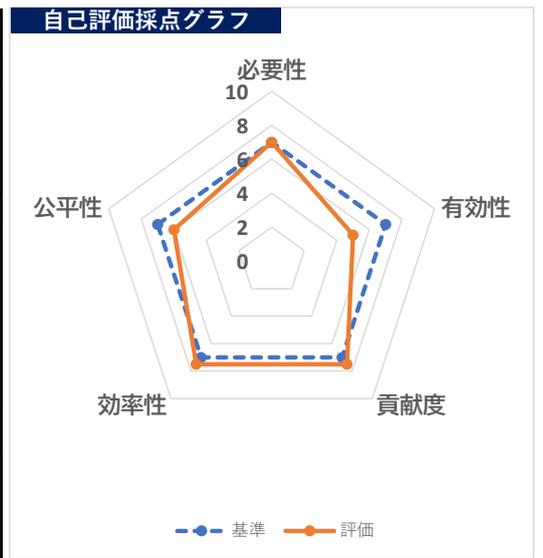
## 4 事業の結果と効果

活動実績指標項目	単位	目標/実績	R 1	R 2
外国語パンフレットの作成数（英語）	部	目標値	2,000	2,000
		実績値	2,000	400
外国語パンフレットの作成数（繁体字、簡体字）	部	目標値	2,000	2,000
		実績値	2,000	800
		目標値		
		実績値		
事業成果指標項目（指標の説明）	単位	目標/実績	R 1	R 2
外国人宿泊客数(暦年)	人	目標値	3,500	4,000
( 銚子市を訪れた外国人の宿泊数(暦年で算出) )		実績値	3,446	597
( )		目標値		
( )		実績値		
( )		目標値		
( )		実績値		
事業成果の総評 ※上記の指標による数値では表せない場合は、総評のみ記載				
新型コロナの影響により、外国人の宿泊数が激減したことから、パンフレットを予定より少ない冊数で製本した。				

## 5 事業の検証

必 要 性	事業の実施に対するニーズはあるか	変わらずにある
	事業の廃止・休止による影響は大きいか	廃止・休止による影響は小さいがある
	市が実施すべき事業か	豊かな市民生活に寄与することから、今後も市が実施する必要がある
有 効 性	事業の成果は得られているか	成果が概ね出ているが、更なる努力は必要である
貢 献 度	上位施策の実現に向けた貢献度	事業の方向性や手法は概ね適切であり、一定程度貢献している
効 率 性	事業費等の削減努力	事業費等の削減について検討し、方向性を決定した
	関連・類似事業との統合	関連・類似事業の統合を検討していない
公 平 性	受益者負担は公正・公平か	今は受益者負担を求めているが、今後負担の導入を検討する必要がある

事業の方向性	c:事業内容は現状どおりとする
見直しの種類	現状どおり
見直しする内容	
今後の予算規模の方向性	予算規模は現状維持とする
(上記理由)	
	毎年、一定数の外国人観光客が銚子を訪れており、外国語対応の観光パンフレットが必要であるため。
比較参考（他自治体での類似事業の例など）	



## 6 総評（評価に対する考え方から今後の事業の進め方など）

新型コロナの影響が大きく、訪日外国人数の回復（渡航制限の回復）について見通しが不透明であるため、パンフレットの増刷は状況を見ながら進める。ウィズコロナ、アフターコロナを見据えて外国人観光客に対応した観光施設の整備やプロモーション活動の強化といった面からも誘客を促進することについて検討する。
---



# 行政経営評価レポート

事務事業名	日本遺産魅力発信推進経費	所管	文化財・ジオパーク室
		事業ID	11007012853

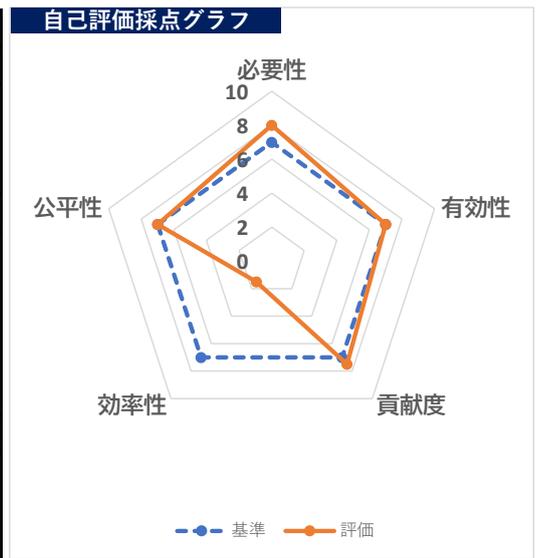
## 4 事業の結果と効果

活動実績指標項目	単位	目標/実績	R 1	R 2
銚子市日本遺産活用実行委員会及び日本遺産北総四都市江戸紀行活用協議会負担金	円	目標値	—	—
		実績値	465,510	600,000
銚子市日本遺産活用実行委員会の開催	回	目標値	—	2
		実績値	4	1
		目標値		
		実績値		
事業成果指標項目（指標の説明）	単位	目標/実績	R 1	R 2
日本遺産関連イベント参加者数 (日本遺産構成文化財の一つである旧西廣家住宅(国登録有形文化財)の公開活用事業への来訪者数)	人	目標値	—	250
		実績値	516	356
		目標値		
		実績値		
		目標値		
		実績値		
事業成果の総評 ※上記の指標による数値では表せない場合は、総評のみ記載				
<p>令和2年度は、銚子市日本遺産活用実行委員会において「北総四都市江戸紀行港町・ちょうし」のパンフレットを作成・配付し、日本遺産「北総四都市江戸紀行 江戸を感じる北総の町並み」のストーリーを理解することで、地域の歴史文化への興味関心が高まることにも、江戸から続く産業の歴史的な背景が生み出す価値をもたらした。</p>				

## 5 事業の検証

必要性	事業の実施に対するニーズはあるか	変わらずにある
	事業の廃止・休止による影響は大きいのか	廃止・休止による影響は大きくある
有効性	事業の廃止・休止による影響は大きいのか	豊かな市民生活に寄与することから、今後も市が実施する必要がある
	市が実施すべき事業か	
有効性	事業の成果は得られているか	事業の実施コストに見合った成果を得ている
貢献度	事業の成果は得られているか	事業の実施コストに見合った成果を得ている
効率性	上位施策の実現に向けた貢献度	事業の方向性や手法は概ね適切であり、一定程度貢献している
	事業費等の削減努力	事業費及び人員の削減を検討していない
公平性	関連・類似事業との統合	事業費等の削減するため、2年以内に関連・類似事業と統合する
	受益者負担は公正・公平か	受益者が特定できないため、受益者負担を求めることができない

事業の方向性	a:事業内容を見直す
見直しの種類	事業を縮小
見直しする内容	日本遺産活動の核となる教育旅行に関連した取組は、銚子資産活用事業と統合することにより効果的な事業運営が可能となる。
今後の予算規模の方向性	予算規模は現状維持とする
(上記理由)	
	県協議会という広域連携体制の下で事業を継続していくため、予算の現状維持は必要である。
比較参考(他自治体での類似事業の例など)	



## 6 総評(評価に対する考え方から今後の事業の進め方など)

<p>市実行委員会事業は銚子資産活用事業と統合し、銚子市文化財保存活用地域計画に基づき教育旅行の推進に必要な整備を計画的に実施し、事業を推進していく。</p>
---